

共産党の提案賛同

「高くて払えない」と悲鳴が上がる国民健康保険料（税）。全国の8割の自治体で平均4万9000円もの大幅値上げの危険が迫ってござることを告発し、公費1兆円投入による国保料（税）の抜本的引き下げを求めた日本共産党的志位和夫委員長の会見提案（14日）に各界から賛同の声が寄せられています。

高すぎるで払えない構造

中央社会保障推進協議会
事務局長 山口一秀さん

国保の値上げをやめさせ、公費投入で値下げに道を開くところ共産党的提案に全面的に賛同します。



公費1兆円投入をぜひ

大阪社保協事務局長 寺内順子さん

大阪では、一般会計から国保会計への法定外繰り入れなしでは国保料（税）が高騰してしまうのが現状です。各都道府県の「標準保険料率」から出した保険料



値上げ迫る政権にノー

全日本医連会長 藤末衛さん

全日本医連の142病院、576診療所などが毎年行っている「経済的事由による手遅れ死亡調査」では、昨年度、77事例が集約



されました（内、がん死亡57例）。

加入社会保険の内訳は、これまで市町村の努力で一般会計から法定外繰り入れをしていたわけですが、国が市町村にそれをやめろとうのなら、その分を国が負担しなければ保険料が上がります。

でしかない。国保運営を任せられた都道府県自体が1兆円の国費投入を求めていました。にもかかわらず日本共産党的調査で明らかになつたように、これ以上保険料を大幅値上げすれば、制度の破綻しか招きません。

ほとんどが高い保険料、受診時3割負担が支払えない結果ですが、水山の一角あります。

は、法定外繰り入れの継続など、高すぎる国保料の引き下げを自治体に求める運動を強めるとともに、高すぎる国保料を払えず滞納せざるを得ない住民に対する無法な差し押さえ処分を撤回させる訴えが、広く訴えられるものではなく、むしろ一いつきたぐ。

統一地方選、参院選では、法定外繰り入れ削減など、国保料の値上げにつながる施策を強行しようとしています。そのことが、4万9000円増という数字となるものと思います。